

問 19 【生活・環境】分野の施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

() 内前回調査数値

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
①安全な暮らし	<p>【施策の目標】 すべての町民が、安心して日々の生活を送ることができるよう、防犯対策や交通安全の推進、各種相談・支援体制の充実に努め、安全・安心なまちづくりをめざします。</p> <p>【基本事業】 ・防犯対策の推進・交通安全の推進・平和活動の推進 ・消費生活・町民相談の充実</p>	58.3% (56.9%)	79.4% (77.9%)
②防災	<p>【施策の目標】 東日本大震災を教訓に「防災」対策に加え、被害を最小限に軽減する「減災」の視点から、常日頃より災害に対する意識を高め、「自助」「共助」「公助」の役割分担と相互の連携による地域社会が一体となった防災体制の構築を図り、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・総合的防災体制の確立・災害応急対策の充実 ・防災教育の推進・災害に強いまちづくり</p>	56.8% (52.8%)	85.6% (83.6%)
③治水・海岸保全	<p>【施策の目標】 高波や高潮、越波などの海岸被害、河川の氾濫や洪水による被害から町民の生命や財産を守り、また、海岸線の侵食被害を防止し、国土を保全するため、海岸保全対策を推進するとともに、河川等の環境整備による治水対策を促進します。</p> <p>【基本事業】 ・海岸保全の推進・治水対策の推進</p>	56.0% (52.4%)	83.4% (80.9%)
④消防・救急	<p>【施策の目標】 事故や火災等から町民の生命や財産を守るため、地域ぐるみの火災予防思想の普及や防火安全対策の強化を図り、火災予防を推進します。</p> <p>また、消防・救急体制の強化や救助技術などの習得による消防職員の資質の向上、施設・設備の近代化や高度化を図り、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・消防体制の充実・火災予防対策の充実・救急救助体制の充実 ・消防団体制の充実</p>	66.0% (63.6%)	83.7% (82.8%)
⑤環境保全	<p>【施策の目標】 豊かな自然環境を保全するとともに、温室効果ガスの排出削減に向け、環境に対する意識の普及啓発、省エネルギーやごみの減量・資源化を進め、環境への影響に配慮した循環型の地域社会づくりをめざします。</p> <p>【基本事業】 ・計画的な環境行政の推進・資源循環型社会の形成 ・自然との共生・公害の未然防止・地球温暖化対策の推進</p>	57.7% (54.8%)	77.2% (74.9%)
⑥環境美化・衛生	<p>【施策の目標】 町民、事業者、行政がそれぞれの役割を果たしながら、景観や衛生に配慮した清潔で美しいまちづくりを目指します。</p> <p>また、町民が安全、快適に暮らせるように公衆衛生の確保やモラル・マナーの向上を推進します。</p> <p>【基本事業】 ・特色ある景観の形成・環境美化の推進・生活衛生の確保 ・愛がん動物の適正飼育の推進・火葬場、墓園墓地の適正管理</p>	54.9% (52.8%)	75.1% (70.6%)
⑦公園・緑地	<p>【施策の目標】 みどり豊かな潤いある町民生活と憩いの場を保全・創出するため、公園や緑地、広場などの整備と維持管理を計画的に進めるとともに、町民による緑化活動を支援し、行政と町民などの協働により、地域と連携した花と緑の環境づくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・公園・緑地の保全と整備・参加と協働による緑化の推進</p>	55.1% (54.8%)	70.1% (68.8%)

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
⑧土地利用・住環境	<p>【施策の目標】 将来にわたり持続的な地域社会を構築するため、自然との調和や人とまちのつながりに配慮した総合的・計画的な土地利用を進めます。 また、安全・安心で快適に住み続けることができるよう、社会環境や多様なニーズに応じた良質な住宅や公営住宅などの整備を推進します。</p> <p>【基本事業】 ・土地利用の推進と適正配置・安全で快適な住まいづくり ・公営住宅、町有住宅の整備・移住、定住の促進</p>	47.5% (46.7%)	72.3% (69.8%)
⑨上水道	<p>【施策の目標】 生活基盤の柱の一つである水道水の安全・安定な供給体制確保のため、水道施設の適切な維持・整備を進めるとともに、水道事業の健全経営に努め、安全でおいしい水の安定供給を図ります。</p> <p>【基本事業】 ・安全で安心な水道給水の充実・利用者の信頼性の向上 ・水道事業の健全な経営</p>	66.1% (65.1%)	83.2% (79.6%)
⑩生活排水処理	<p>【施策の目標】 生活排水を適切に処理することにより、衛生的な生活環境を保持するとともに、河川や海などの水質を保全し、美しく快適な居住環境を創出します。</p> <p>【基本事業】 ・安全で快適な公共下水道の整備・し尿、生活排水処理の充実 ・下水道事業の健全な経営</p>	61.2% (61.8%)	82.0% (77.7%)
⑪道路	<p>【施策の目標】 地域産業や経済の活性化、快適で利便性の高い交通ネットワークの形成を図るとともに、災害等緊急時の迅速な避難・救助活動を支えるため、幹線道路や生活道路の整備、適切な維持管理を行い、安全で快適な道路環境づくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・広域幹線道路の整備促進・町民生活を支える町道の整備 ・町道、橋りょう等の維持管理の充実</p>	51.6% (49.8%)	79.9% (74.9%)
⑫公共交通機関	<p>【施策の目標】 町民の日常生活における身近な移動手段を確保するため、関係機関との連携により、利便性の高い、魅力ある公共交通の維持・確保を促進するとともに、利用者ニーズにあった公共交通サービスの提供に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・公共交通ネットワークの維持、確保 ・日常生活を支える移動手段の維持、確保</p>	42.3% (43.0%)	81.1% (76.4%)
⑬地域情報化	<p>【施策の目標】 情報通信の利用機会・地域間格差を改善し、豊かな町民生活の実現や地域社会の活力ある発展を図るため、情報通信基盤整備を促進するとともに、情報通信技術を活用した地域情報化や、行政の情報化によるサービスの向上に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・情報通信基盤の整備・地域情報化の推進 ・難視聴地域の解消促進</p>	51.5% (51.2%)	69.7% (67.8%)

※参考 「満足度」と「重要度」の算出方法

各施策に対する満足度及び重要度は、それぞれ1～5の5段階評価による回答をいただきました。

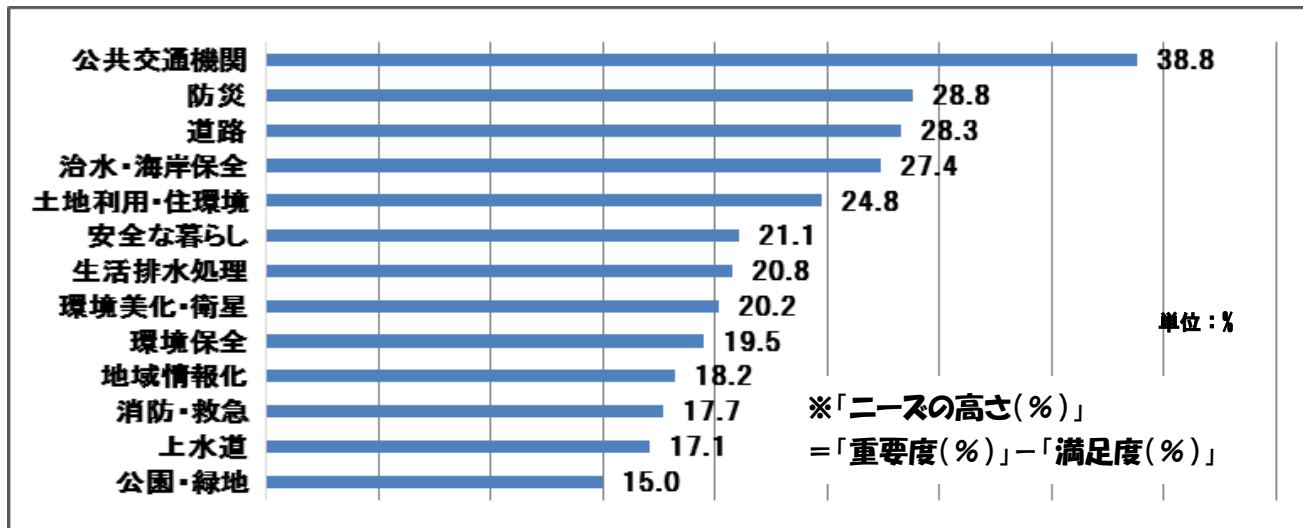
配点を「1（満足・重要）＝100%」、「2（まあ満足・まあ重要）＝75%」、「3（どちらともいえない）＝50%」、「4（少し不満・あまり重要ではない）＝25%」、「5（不満・重要ではない）＝0%」とし、算術平均により、「満足度（%）」と「重要度（%）」を算出しています。

《計算式》（「1」回答者数×100%＋「2」回答者数×75%＋「3」回答者数×50%＋「4」回答者数×25%＋「5」回答者数×0%）÷全回答者数

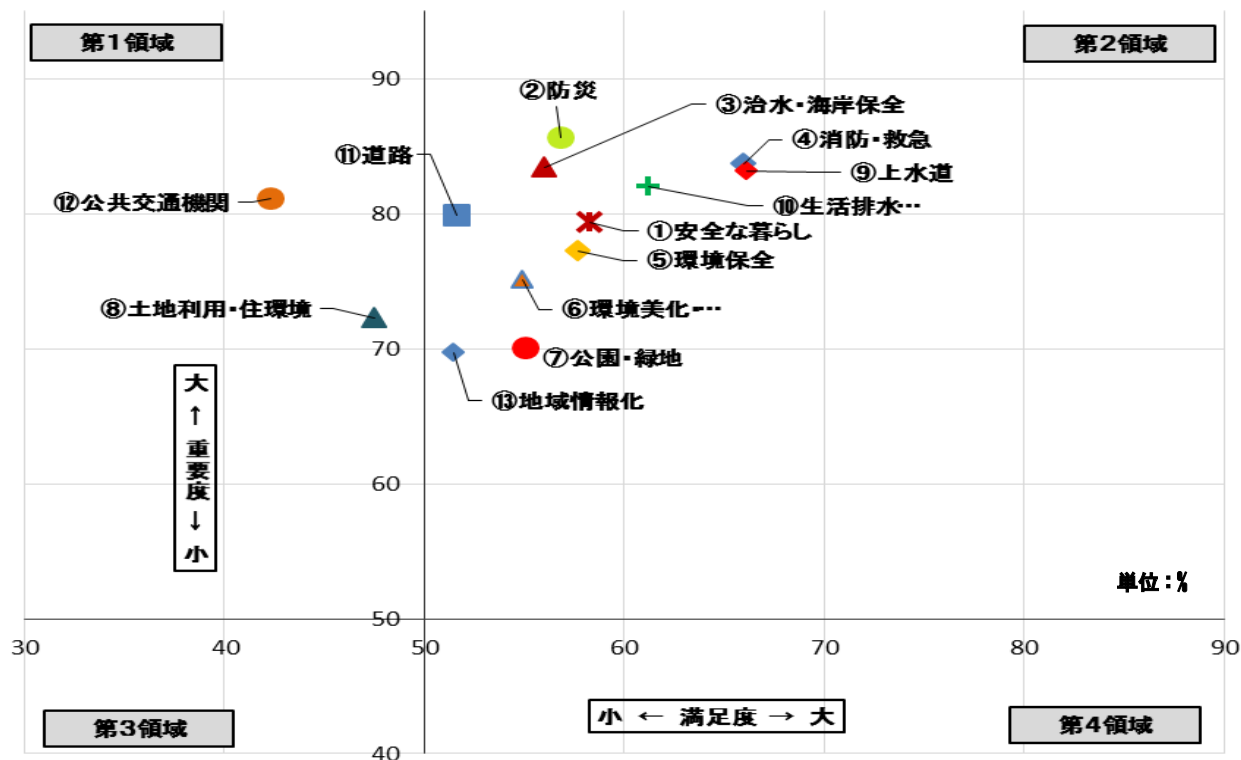
【生活・環境】分野の施策に対するニーズの高さ

★【生活・環境】分野において、最もニーズが高いのは「公共交通機関」となり、次いで「防災」「道路」となりました。

★第1領域（今後特に力を入れるべき施策）は、「公共交通機関」、「土地利用・住環境」の2施策となっており、特に「公共交通機関」について、その充実が求められていることがうかがえます。



「生活・環境」分野の満足度・重要度分布図



※ 各領域の説明

- | | | | |
|--------|---------------------------------|---|----------------|
| 【第1領域】 | 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が高い(50%以上) | ⇒ | 今後、特に力を入れるべき施策 |
| 【第2領域】 | 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が高い(50%以上) | ⇒ | 継続して取り組む施策 |
| 【第3領域】 | 「満足度」が低い(50%未満)・「重要度」が低い(50%未満) | ⇒ | 改善を要する施策 |
| 【第4領域】 | 「満足度」が高い(50%以上)・「重要度」が低い(50%未満) | ⇒ | 見直しを検討すべき施策 |

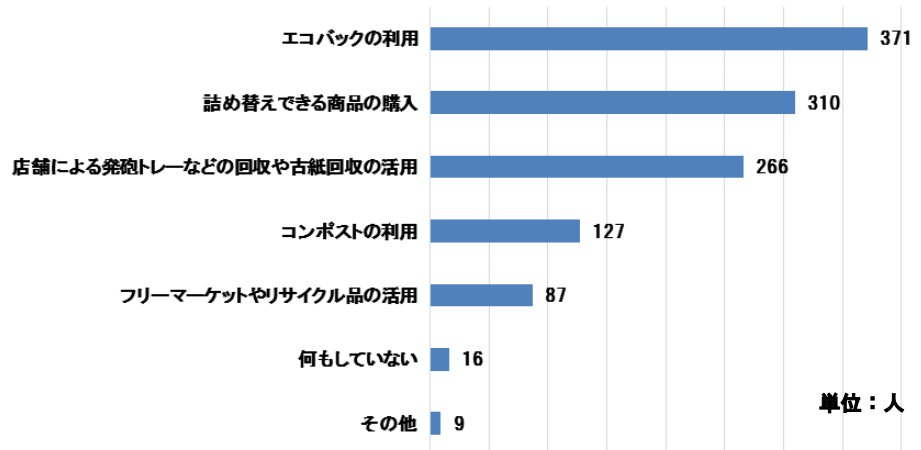
問 20 あなたは、ゴミを減らすために、実施していることはありますか（複数回答可）。

●エコバックの利用が

最多

・ゴミの減量化に関しては、「エコバックの利用」「詰め替えできる商品の購入」「店舗による発砲トレーなどの回収や古紙回収の活用」が上位となり、リサイクルに対する意識の向上がうかがえます。

・その他「物を買わない」「リサイクルの徹底」「エコクッキング実施」の回答がありました。



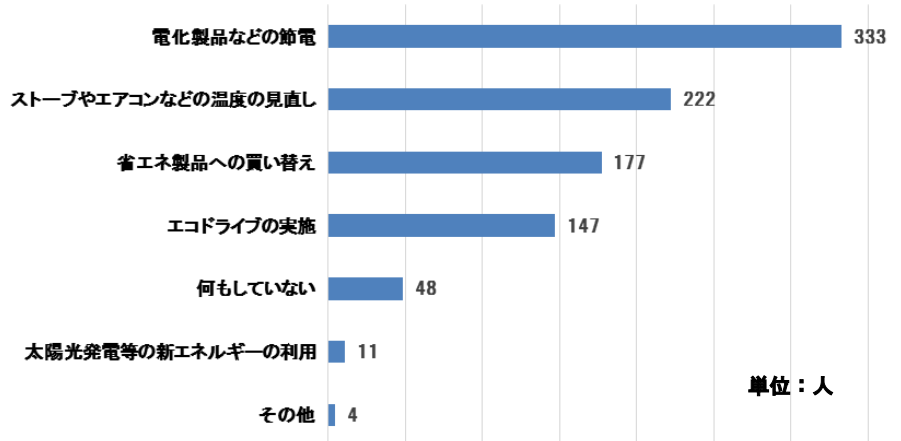
問 21 あなたは、地球温暖化防止のために、実施していることはありますか（複数回答可）。

●「電化製品などの節電」が

最も多い

●空調設備の温度設定の心がけも多い

・各家庭等において、節電意識の高まりがうかがえるとともにエコドライブを実践しているという回答が多くありました。



問 22 あなたは、環境保護のために、実施していることはありますか（複数回答可）。

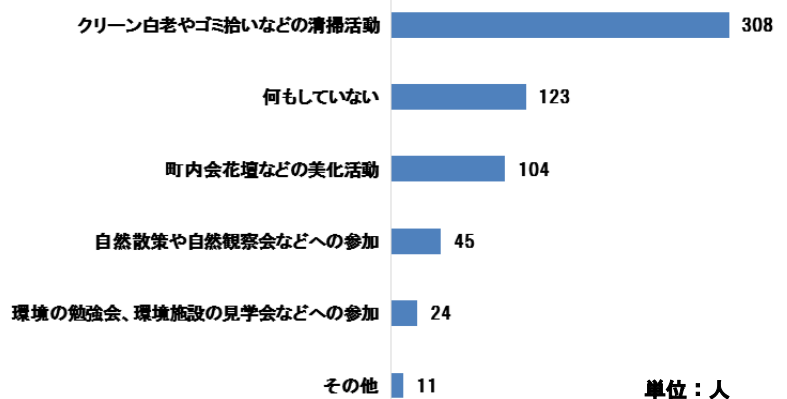
●「クリーン白老やゴミ拾いなどの

清掃活動」が最多

・環境保護に関しては、「クリーン白老やゴミ拾い等の清掃活動」が最も多く、「町内会花壇などの美化活動」と合わせ、町内会等による環境保護活動が活発に行われている様子が見えます。

・一方、「何もしていない」が2位になるなど、個人に対する意識啓発の必要性がうかがえます。

・その他に挙げられたのは、「自宅周りの清掃・美化」「ゴミ出し曜日の徹底」でした。

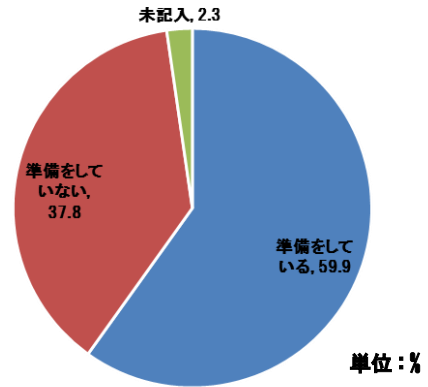


問 23 あなたは、災害や緊急時に備えた準備をしていますか。

●「準備をしている」と答えた割合は 59.9%

・災害や緊急時に備えた何らかの準備をしている人は、59.9%と防災意識の高まりがうかがえます。

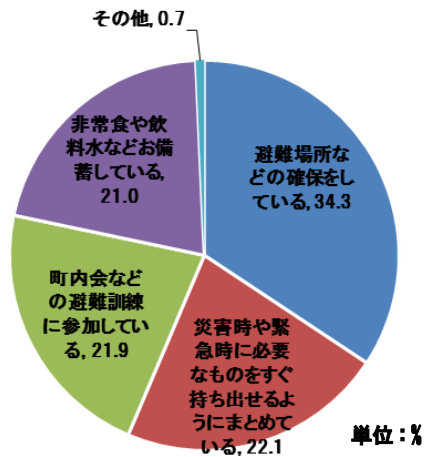
一方、約4割の方が、「準備をしていない」ため、継続的な啓発が必要な状況にもあります。



問 23-2 「1 準備をしている」と答えた方にお聞きします。具体的にどのような準備をしていますか（複数回答可）。

●「避難場所の確保」が最多

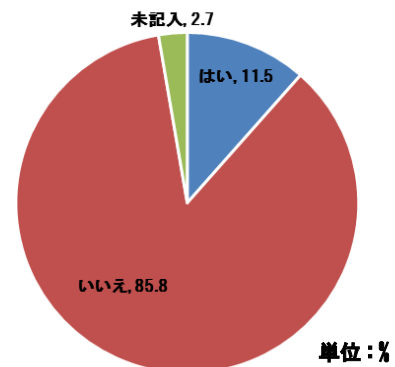
・災害時等への準備としては、「避難場所などの確保をしている」が最も多く、「災害時や緊急時に必要な物をすぐ持ち出せるようにまとめている」「町内会などの避難訓練に参加している」「非常食や飲料水などを備蓄している」の3項目については、均衡しており、複数の準備をされていることがうかがえます。



問 24 災害時に必要な1人3日間の食料は、何がどのくらい必要か知っていますか。

●「はい」はわずか 11.5%

・災害時に必要な食料の種類や量については、85.8%の方が「いいえ」と回答していますが、一方で、「具体的に知りたい」との記述もあり、関心の高さがうかがえます。



問 25 避難生活が長期化した場合、体調を崩さないような食事の摂り方を知っていますか。

●知っている割合 5.9%

・被災等による避難生活を強いられたときの食事の取り方についての知識の有無の設問でしたが、90.8%が「いいえ」との回答となる一方で、「具体的に知りたい」という声も多くありました。

